

提 案 書

平成26年 8月18日

(あて先)

埼玉県教育局教育総務部教育政策課長 様

所 属：杉戸町立杉戸第三小学校

職 氏 名：教諭 ・ 萩原信和

連絡先の電話番号：0480-32-0909

埼玉県教育委員会教職員提案制度募集要項に基づき、次のとおり提案します。

タイトル： 8秒間チャレンジ！50m走力アップ大作戦！！	
実践事例の要旨： 児童が自分の力に応じた距離を選択し、8秒間全力疾走してその距離のゴールを達成することで、50mの記録の向上する	
実践に至った背景： 新体力テストにおいて過半数を超える項目で県平均を下回っていたことから、まずは短距離走の向上を達成することで児童に自信をつけようと考えた。	
実践のねらい及び内容： ねらい…50m走の記録向上 内容…業前運動や体育朝会、短距離走のタスクゲームで行う。50m走のコースを60mに延長する。40m～60mの間に2m間隔で線を引き、複数のスタートラインを設定する。児童は自分の力に応じた距離を選んでスタート位置に移動してスタートの準備をする。合図に合わせ8秒間全力疾走し、2回目の合図までにゴール通過をめざす。達成できたらスタートする位置を後ろに下げて達成できるか挑戦していく。上位の児童用に60mくらいまで準備する。	
実践の成果や効果： 児童の50m走の記録が向上した。平成24年度は2年生男子を除いた男女全学年、平成25年度は男女全学年で新体力テストの県平均を上回った。	
実践期間： 23年11月～26年度現在（継続中）	
実践事例のセールスポイント： 準備が簡単である。ルールが簡単なので児童の理解が早い。自分の記録更新を目指した挑戦なので、児童が意欲的に取り組める。	
<実践事例を他校でも活用できる方策等>	
* 他校で導入する際のポイント：教職員の共通理解と共通実践による協力体制 体育部の指導と高学年児童による実践の公開 児童の実態に応じたスタートラインの設定	
* 失敗しないための秘訣：児童へのルールの徹底とそれを遵守させること（注意をされたりケガをしたりすると意欲が失われる）、教師-児童間、児童-児童間での励ましの声掛けや助言の奨励、教師によるフォームの助言と向上点の賞賛	
* こうすれば自校よりも高い効果が得られるという方策：スタート・ゴールをCDで合図しオートマティック化することで教員が指導・賞賛に集中できること、自己肯定感を高める手だて（がんばったことの発表）と他者評価を受けられる手だて（児童間の相互評価や講和朝会での校長からの励まし・賞賛）を講じること	
* その他：	
公的支援（予算措置や教職員の加配等）への要望 8秒間をカウントしてくれる（スタートとゴールは笛の音にする）8秒間走用のCDの全校無償配布	実践元の所属長確認 動画や写真の使用許可 <input checked="" type="checkbox"/>